

## IIJ、IPv6ネイティブサービス開始

2000年9月1日

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社：東京都千代田区、代表取締役：鈴木 幸一)は、2000年9月1日より、専用線を使った「IPv6ネイティブサービス」を開始します。次世代インターネットプロトコルであるIPv6(Internet Protocol version 6)を用いたインターネット接続サービスを、ネイティブ型(\*)で提供するのは国内初です。2001年3月31日までは無料実験サービス期間とし、2001年4月を目処に有償の正式サービスの提供を開始する予定です。サービス提供地域は、東京から開始し、順次拡大していきます。

(\*) ネイティブ型：IPv6のデータをそのままインターネット上で伝送する方式。IIJはこれまで、IPv6のデータをIPv4形式でカプセル化してIIJとユーザ間を伝送する「トンネリング」技術を用いて実験サービスを提供していました。

IPv6は、IPv4の抱えている割当てアドレス能力の限界などの問題を解決し、インターネットの可能性をさらに広げる技術として期待されています。携帯電話のインターネット対応や電化製品などによるホームネットワークの導入などが見込まれる中、IIJでは、1999年8月より商用ISPとしては国内初となる「IPv6実験サービス」の提供を開始し、IPv6の開発・サービス化において国際的なイニシアティブをとることにより、同分野における運用技術を確立してきました。「IPv6ネイティブサービス」の提供により、開発力の一層の向上を図るとともに、インターネットのもつ可能性を切り拓いていきます。

### 【サービス概要】

サービス名称	IPv6ネイティブサービス
サービス開始時期	2000年9月1日
サービス対象地域	東京から開始、順次各地域へ展開予定
提供帯域	64kbps, 128kbps, 1.5Mbps
利用料金	2001年3月31日まで無料、その後有料(詳細は別途発表予定)なお、回線費とルータレンタル料等の費用は別途発生します。

以上